



2020年11月10日

各位

会社名 タカセ株式会社
 代表者の役職名 代表取締役社長 大宮司 典夫
 (JASDAQ・コード9087)
 問合せ先 常務取締役管理本部長
 笹岡 幹男
 (TEL. 03-3571-9497)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年8月13日に公表した2021年3月期第2四半期(累計)ならびに2021年3月期通期(2020年4月1日~2021年3月31日)の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(単位:百万円)

(1) 2021年3月期第2四半期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2020年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	3,650	90	90	70	70.43
今回修正予想(B)	3,600	60	80	20	20.12
増減額(B-A)	△50	△30	△10	△50	—
増減率(%)	△1.4	△33.3	△11.1	△71.4	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	3,790	90	99	70	70.88

(2) 2021年3月期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	7,350	190	190	150	150.93
今回修正予想(B)	7,300	130	150	70	70.43
増減額(B-A)	△50	△60	△40	△80	—
増減率(%)	△0.7	△31.6	△21.1	△53.3	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	7,622	169	182	98	99.03

2. 修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間

当第1四半期におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が想定を上回り、苦戦を強いられました。第2四半期におきましては、上海現地法人をはじめとした連結子会社各社において、業績の回復が見られたことに加え、当社においても通販関連業務の業務取扱拡大による改善が見られたものの、第1四半期の下振れを補うまでには至りませんでした。

以上から、2021年3月期第2四半期連結業績予想数値の営業収益は、前回発表予想数値に対して、50百万円減(△1.4%)の36億円、営業利益は、同予想数値に対して30百万円減(△33.3%)の60百万円となる見込みであり、経常利益は、10百万円減(△11.1%)の80百万円となる見込みであります。さらに、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失に投資有価証券評価損等30百万円の計上を余儀なくされたことから50百万円減(△71.4%)の20百万円となる見込みであります。

(2) 通期

新型コロナウイルス感染症拡大の影響とその収束動向につきましては、引続き不透明な状況が続くものと見込まれます。そのような状況の中、上期の状況を踏まえ、上記のとおり修正をおこなっております。

(ご留意事項)

上記の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提にもとづいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上